

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

事業名	800	名 称	商工事務管理経費	会計	01	一般会計
基本施策	99			款	07	商工費
				項	01	商工費
				目	01	商工総務費
担当部課名	青山支所産業建設課			細目	101	事務管理経費
作成者氏名	山内 敏	連絡先	52-3220	細々目	01	事務管理経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	金融機関を通じ商工業者の申請による法定の証明事務。	制度資金の活用により商工業者の経営安定を図る。
本年度事業内容	金融機関を通じ商工業者の申請による法定の証明事務。その他、商工情報の提供事務。	
根拠法令・要綱等	中小企業信用保険法	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	32	0	0
	委託料			
	その他	32		
	合計(A+B)	752	720	720
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	752	720	720
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
証明件数	件	2	2	2			

情勢の変化及び事業の改善点等

当管内の商工業の現状は、商業は阿保、桐ヶ丘地域に集中し、工業は青山工業団地に集中している。過去の林業が好況な頃は、管内全域に製材所が分布し、地域経済を先導していた。今後は豊富な木材資源を有効に活用できる商工業の振興を図る。

評価	達成度	4	商工業は比較的市の行政が手薄な面と言わざるを得ない。限られた権限の中で支援できることは多くは無い。しかし、現状では、これら商工業で働いている市民が殆どであり、その浮沈は地域経済を、活性化の鍵になることは疑いようがない。不振の農林業と商工業を繋いで双方活性化させる方向こそ市の行政に求められている。
	効率性	4	